

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 02 月 17 日作成)

委員会名	キャンパス計画小委員会	主 査 名：小林英嗣
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鳴海邦碩
設 置 期 間	2003 年 04 月 ~ 2005 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>(1)高度情報化等、社会の変化を背景としたキャンパス計画の都市計画上の位置づけ及びその戦略と変遷を明らかにする。</p> <p>(2) 国内外におけるキャンパス計画の情報収集を行い、今後の整備方向の明確化を行う。</p> <p>(3)次世代におけるキャンパス像を明らかにする。</p> <p>本委員会は、大学の研究者、文教施設及び大学施設部課職員、都市行政関係者、コンサルタント技術者等による「キャンパス計画関係者の懇談会(1998年～)」が母体となっている。</p> <p>1999年度：大会研協「大学立地は都市を変えるか」</p> <p>2000年度：都市計画教育小委員会キャンパス計画WG設置</p> <p>2001年度：大会PD「21世紀/大学と地域の連携を再構築する」</p> <p>2002年度：海外事例調査</p> <p>2003年度：大会研究懇談会「戦略的キャンパス計画と都市のシナジャイズ」</p> <p>2004年度：大会特別シンポジウム「21世紀をささえる大学の姿と環境」、大会 OS「都市と大学空間の連携と計画」、海外事例調査</p>	
委員構成 (委員名(所属))	小林英嗣(北海道大学),小篠隆生(北海道大学),坂井猛(九州大学),有賀隆(名古屋大学),上野武(千葉大学),尾崎健夫(早稲田大学),金谷史明(京都大学),岸田省吾(東京大学),鈴木雅之(千葉大学),岸本達也(慶應義塾大学),倉田直道(工学院大学),小松尚(名古屋大学),杉山丞(東北大学),鶴崎直樹(九州大学),三島伸雄(佐賀大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>キャンパスと都市・地域WG：大学キャンパスと都市・地域が連携した先進的計画事例に関する情報収集とデータベースの構築および公開を行う。</p> <p>キャンパスの計画と戦略WG：キャンパス計画の位置付け、及び抱えている課題と戦略を明らかにする。</p>	
2004 年度予算	356,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 15 回・4 月 7 日・9 人、第 16 回・6 月 11 日・9 人、第 17 回・6 月 27 日・9 人、第 18 回・8 月 27 日・17 人、第 19 回・10 月 7 日・7 人、第 20 回・1 月 14 日・13 人、第 21 回・3 月 17 日(予定)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 特別シンポジウム「21 世紀をささえる大学の姿と環境」の企画・開催(2004 年 8 月 27 日,参加 130 名,共済ホール(札幌市),後援:文部科学省、独立行政法人都市再生機構、公共建築協会、文教施設協会)</p> <p>(2) 「キャンパスマネジメント・ハンドブック」を学会直営出版物として刊行。(2004 年 8 月)</p> <p>(3) 小委員会活動による共同研究が、科学研究費基盤 B 1 (2003-2004 年)に採択。</p> <p>(4) 海外都市・大学連携調査(2004 年 10 月 28 日-11 月 3 日、UC デイビス、デイビス市、カリフォルニア工科大学、UCアーバイン)</p> <p>(5) オーガナイズドセッション「都市と大学空間の連携と計画」の企画・運営。(2004 年 8 月,北海道大会,概要審査付論文 10 編採択)</p> <p>(6) キャンパス計画セミナー「新しい大学像とキャンパス計画」の開催。(2005 年 2 月 10 日,参加 79 名,大阪大学中之島センター,主催:近畿地区国立大学法人等施設担当部課長会,共催:キャンパス計画小委員会,大阪大学)</p>

	委員会 HP アドレス : <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/toshi/s1/">http://news-sv.ajj.or.jp/toshi/s1/</a>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>今年度は、当初の活動計画における目的をほぼ達成したと考える。 次年度、引き続き3つの目標に向けた活動を実施したい。</p> <p>(1)学術的視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパス計画研究のフレームワーク、地域・都市と連携したキャンパス計画の体系を展望し、事例収集・分析をさらに進める。(大会 PD、OS、欧州調査)</li> </ul> <p>(2)計画技術的視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の拠点大学を中心として、ハンドブックをベースに、実務者向けの研修会等を実施し、成果の普及に努める。(近畿地区に続き、九州地区等で開催を企画)</li> <li>・キャンパス計画関係者の懇談会(第8、9回)を実施する。</li> </ul>
その他評価すべき事項	なし。